

中野区における脱炭素社会の実現に向けた分析調査等の実施について

1. 目的

脱炭素社会の実現に向けて、地域特性を踏まえた二酸化炭素排出量の削減ポテンシャル等の分析調査を実施する。分析調査の結果を踏まえて、区内の脱炭素化を推進するための効果的な施策を検討し、脱炭素ロードマップの作成を進める。

2. 分析調査の概要

(1) 中野区の現状把握

中野区の人口構成、事業所構成、電力等使用量、太陽光パネル設置状況、緑化状況など、二酸化炭素の排出・吸収の要因に関する分析調査を通じて、区内の二酸化炭素排出状況に関する詳細な現状把握を行う。

(2) アンケートの実施

区民・事業者のエネルギー消費状況や省エネルギーへの取組状況等を把握するため、2,000世帯及び500事業所を対象としたアンケートを実施する。調査票は郵送により送付し、郵送またはインターネットにより回収する。

(3) 二酸化炭素の削減ポテンシャル等の分析

(1) 及び (2) の結果に基づき、中野区における二酸化炭素の排出削減に関するポテンシャルの分析を行う。また、国や都の施策や民間の技術開発の動向等の分析調査を通じて、社会全体の各主体の取組による二酸化炭素の排出削減量を予測することで、区が取り組むべき二酸化炭素の排出削減量と削減目標を明らかにする。

3. 効果的な施策の検討

分析調査の結果を踏まえて、区が取り組むべき二酸化炭素の排出量削減を実現するために、関係部署との調整及び委託事業者からの提案を通じて、効果的な施策について検討する。全庁をあげた様々な施策を脱炭素ロードマップに反映することで、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進していく。

4. 今後のスケジュール（予定）

令和5年度に分析調査及び効果的な施策の検討を行い、令和6年度の早期に脱炭素ロードマップを作成する。